

# ほろ酔い人

334 髪型



## 大崎短歌会

兼題「雛・自由」

店頭に色とりどりの雛あられ  
孫へのみやげ五袋求む  
沈みゆく夕陽は朱し輝きて  
飛行機雲は長く尾を引く  
六人の儚しきたつき雛壇は  
折り紙内裏に卵の仕丁  
酒汲みて大和古来の雛祭り  
女兒すこやかに子孫繁栄  
凜とした早朝散歩路孫の受験  
高隈山に向かひ密かに祈る  
賑賑と女童祝う雛の壇  
光り輝く上巳の節句

井元かず子  
川崎健一  
山下海征  
坂元つる子  
栞山重子  
実吉安仁

師の招く窓辺や白きハンカチに

病癒やせる雛の風届く

ひな壇の前に正座するわれ二歳

褪せし写真に父母の愛見る

雛の日の近づきくれば目に浮ぶ

ふくれ菓子作る亡母の笑顔の

馬場みさ

上南紀子

穂園芳江

## 薩摩郷句

兼題「多け」

多数つ来た 鳥い奴れ野菜は 骨いなる  
(唱) こげんも見事つ 食も食たもんじや  
飲ん方い 多けどち女房ん 目が光つ  
(唱) こいずいじゃつで も一時待て  
上村牛歩  
満石うらら

多け花粉 涙鼻水じ 苛なさえつ

(唱) 昔しや無かった 厄介な病氣

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事

(唱) 酷ね話ち 可哀想したまらん

多け釣銭に 儲けたち走つ 逃ぐい婆

(唱) 儲けた気もすい 嬉し恐ろし

年頃も 希望が多こし 嫁っださじ

(唱) 今が決め時 大概目を瞑れ

多け苦情い 脾臓が痛とからで 鹿鼎警

(唱) 世間の非難 頭が痛とし

多け孫い 今年も嬉しゆ サクラサク

(唱) 金な要どん 有難て事じや

多け金が 一人息子を 監獄へ送つ

(唱) 我儘三味め 金ぬ宛ごつ

欲奴が 多け方を取ろち 掴ん合つ

(唱) あん奥様が 見苦し事じや

二才じゃが 多けとが解つ にこつなつ

(唱) 天才じゃがち 婆様もにこつ

多け災難に 高台で建てたや 今度だ火事